

平成21年度 学校自己評価表 (計画段階・実施段階)

学校運営計画(4月)				評価(3月)	
学校運営方針	次代を担う人間として、徳育・知育・体育の調和を図り、豊かな人格を涵養するとともに自ら学び、個性を伸ばし、心身ともに逞しく、社会の発展に寄与する人間を育成する。			B	
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	B		
職員・生徒の意欲的な取組はもとより、保護者や地域のご支援により、文武両道にわたって成果を上げる有数の進学校そして伝統校へと発展を遂げ続けている。今後は昨年度入念に検証した教育活動全般についての成果と課題そして改善策を全職員で共有化しながらチームとして教育活動に当たることを目指す。特にきらめき計画は確実に実践する。	生徒相互及び生徒と教師との人間的な触れ合いの中で豊かな人間性を育む。	生徒指導の基本を挨拶、掃除、容儀、時間厳守とし、全職員での指導を徹底する。			B
		部活動加入率80%超を目指し、運動・文化の両部活動の活性化を図る。			
	学習指導をより一層充実し学力の向上・深化を図る。	いじめのない学校を目指し、全教育活動において心豊かな生徒の育成に努める。			
		年間出席率を99%超と定め、基本的生活習慣の徹底を図る。		中退率0%を目指し、職員間で情報の共有化を図りながら指導に当たる。	
自主的な学びを促し、志をより一層高め、希望する進路の実現を図る。	家庭学習を充実させるために有効な時間の使い方を全職員で指導する。	生徒が夢を描き続けられるように、様々な教育活動を通して支援する。	職員全員の学校経営参画意識を醸成し、チームとしての意識の定着を図る。		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題	
教科指導	「生徒の状況に応じた効果的な学習指導」の実践の企画・運営・支援を行う。	導入期指導「春日生になるために」の実践をとおして、授業力の向上を図る。	A	A	・学期指導計画の実施について徹底を図る。  ・家庭学習時間の必要性について、意識面からの指導の充実を図る必要がある。 ・きらめき委員会とキャリアアップ委員会の統合を図り機能の充実を図る。
		学力リサーチテストの結果を年間授業指導計画に反映させ効果的な学習を行う。	B		
	計画的な特別補講、三者面談、調査統計資料の提供等により成績不振者指導の充実を図る。	A			
	「家庭学習時間の減少」克服のため関係部署との連携により完全下校時間の徹底を図る。	B			
生徒指導	生徒自らの「在り方生き方」や未来を自主的に探る活動の充実を図り、積極的な生活を身につけさせる。	進路指導部やキャリアアップ委員会との連携を密にし、「総合的な学習の時間」だからこその活動充実させる。	B	B	・1学期と比べ遅刻欠席が増加傾向である。 ・服装、頭髪の身だしなみの意識が低い。 ・集会時などの集団行動における機敏さに欠け、聞く態度が崩れ積極的な姿勢に欠ける。 ・生徒会をはじめ生徒リーダーを育成する体制作りが必要である。 ・交通マナーの向上、事故防止、ツーロックの徹底が課題である。 ・戸締まりの不徹底や下校時刻が一部守られていない。
		人権や現代的な課題等を盛り込んだホームルーム活動の年間予定を作成し、その充実と発展を図る。	A		
	基本的生活習慣の確立及び規範意識や道徳心の向上を図る。	授業時を中心に時間の厳守、挨拶の励行、身だしなみの指導を徹底する。	B		
		全職員で校内巡視を行い問題行動の未然防止や安全な教育環境づくりに配慮する。	A		
進路指導	リーダーシップとフォロワーシップの育成を図る。	生徒会執行部及び各専門委員会が連動して機能できるよう指導・支援し生徒会活動の活性化を図る。	B	B	・キャリア教育は本年度を十分に総括し、より整備された企画とする。 ・新進路指導室の有効利用について、年度初めより周知を行う。
		年間を通じて部活動加入率80%以上を実現する。	A		
	生徒の安全を確保するための指導の充実を図る。	登下校時の事故防止、安全確保のために交通安全指導を企画実施する。	B		
		全職員で下校時間を厳守させ、速やかに帰宅する習慣をつけさせる。	B		
保健	3年間を見通したキャリア教育を確立し、年度毎に取組の精選・充実を図れる体制を整える。	教務部をはじめとする関係部署と連携し総合的な学習の時間、ホームルーム、進路行事の精選・充実を図りキャリア教育の体系化を進める。	B	B	・環境美化に関してのスタッフ(職員・生徒)の意識の向上を図り、ゴミの分別・清掃活動の一層の充実を行う。 ・引き続きインフルエンザ等の対策を行う。
		進路指導室及び資料室の有効活用のため利用方法や資料についての周知を行う。	C		
	自主的に健康に関心を深め、諸問題を解決する態度を身につけさせる。健康で明るい学習環境作りや環境保護の観点から環境美化に取り組む。	学校行事・ホームルーム活動・生徒会活動等を通して健康管理や安全指導に関する保健指導を適切に行う。	A		
		安全点検を定期的に行い快適な学習環境を作る。	B		
広報活動	地域や関係機関へ本校教育活動を適切な情報として適宜・的確に知らせ、魅力ある学校の周知に努める。	グリーンスタッフとしての活動の推進を図り、花のある美しい環境を作る。	A	A	・学習塾訪問はできなかった。誰がどの時期に行くか明確にする必要がある。 ・HPについてはCMSへの移行もすませたのもっと活用していきたい。
		関係の中学校や学習塾訪問を年2回は行う。	B		
	学校新聞「春日の風」の内容を充実させ、年4回発行し、関係中学校へ配布する。	A			
	HPを学校の顔と捉え、更新を月1回は行う。	A			
職員研修	職員研修(校外)の改善と充実を図る。	年2回全校生徒に対し、授業アンケートを実施し授業改善に努める。	B	B	・授業アンケートの結果が授業改善に直結するように内容及び分析を工夫する。
		保護者への公開授業を実施し、本校の教育活動への理解を深める。	A		
保護者・同窓会等との連携	父母教師会や同窓会との相互理解を深め、連携して学校の発展に努める。	父母教師会総会や同窓会と連携して講演会や視察研修の出席率を前年度以上にする。	A	A	・講演会、視察研修ともに前年を上回る事ができた。 ・地道な広報活動を次年度も継続していく。
		保護者からの質問や要望に対する学校としての受付窓口の機能を担う。	A		
図書活用	読書の意義や楽しさに気づかせる。	「読書会」を年2回実施する。	A	B	・「読書会」の内容のより一層の充実を図る。 ・年間指導計画の中に各教科とも図書館利用計画を入れるよう働きかける。 ・ブックマイルージは次年度以降も継続していく。
		教科との連携をとり、図書館利用の促進を図る。	C		